



株式会社 サンロフト

(男性28名、女性26名)

ICTコンサルタントとして、企業や官公庁、教育・保育施設の課題解決に取り組む事業を展開しています。

広報マーケティング室 室長 鈴木 あゆみさん

「えるぼし」認定で三ツ星に！

もともと女性が活躍している職場でしたが、平成26年「ふじのくにでしこ企画100選」に推薦されたことがきっかけで女性活躍推進の制度化を意識し始めました。宣言事業所になってからは、メディアや県・市にも注目していただけるようになりました。その後は「えるぼし」の認定を受け、改めて現状を振り返ると、自分たちの環境がとても恵まれていることに気づき、仕事にも自信が持てるようになりました。

また、「えるぼし」を取得している他の企業との信頼関係も築けたことで、営業活動にもつながっています。

STAFF VOICE

後輩につなげていきたい

社長は、個々の事情に合わせて柔軟に対応してくれています。元々社内外の関係者とネット上でコミュニケーションを取っていたので、在宅勤務を取り入れても無理なく仕事ができました。日報を共有する「nanoty」によって社員との交流も図れています。サンロフトは男性・女性に関係なく仕事の機会をもらえるので、やりがいもあり満足度も高いです。

また、働き方の多様な制度活用は、周囲の理解があることが重要ですが。在宅勤務の利用者としては私が第1号となりましたが、自分の経験を活かしながら視野を広げていき、女性がもっと働きやすい環境を後輩につなげていければいいですね。

はせがわ あゆみさん (在宅勤務利用中)



それぞれが働きやすい環境に

「働きやすい職場」といっても、社員それぞれ感じ方や考え方も違うので、一つの制度をみんなに適用できるか、全員に合わせられるかが難しい所だと思っています。出会った社員たちと良い関係を築き、できるだけ長く勤めてもらえたらと思っています。

IT企業ということもあり、社員同士のコミュニケーションに自社開発の社内SNS「nanoty」を活用しています。社長も社員も毎日書く日報は、「nanoty」を通じて社員全員が見ることができるので個々の事情もある程度わかり、協力体制も取りやすくなっています。

社員が感謝の気持ちを伝え合うサンクスコインという制度があります。コインは、社内のカフェなどで利用できます。



わが社のイチオシ

教えて！カエルくん

働き方改革プチ知識

「えるぼし」マークを取得しましょう！

一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する状況が優良な企業は、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定を受けた企業は、認定マーク「えるぼし」を商品などに付すことができます。

こんなメリットが！

- ・優秀人材の確保
- ・企業イメージの向上
- ・職場環境の改善
- ・公共調達への加点評価



第3回 父・いじいちゃんフォトコンテスト

男性が作ったお弁当の写真を募集します。お父さんやおじいちゃんなくても大丈夫！

募集期間 8月4日(日)まで

大賞、優秀賞、特別賞には賞品があります。ご応募お待ちしています！



詳細はこちら！



編集後記

取材では会社のアットホームな雰囲気伝わってきて、社員の方々が仕事にやりがいと責任を持ち、長く働き続けたいと考えていらっしゃるのが印象的でした。働き方改革に関する意識調査では、期待と不安が半々といったところでした。思っている以上に、様々な意識改革も必要なのではないかと思いました。 ㊦

取材を通して感じたのは、本当の「働き方改革」とは働く側だけでなく、会社自体にとってもメリットが有るものだ、ということです。はつらつとした女性たちと和気あいあいとした職場。これからも、少しずつでも世の中が良い方向に変わっていくと嬉しいですね。 ㊦



©かわいさちこ

小林食品 株式会社

(男性31名、女性31名)

多様な原料と幅広い加工技術で削り節からだしまでさまざまな業務用商品を製造。燈節に「おいしさと安心を」

取締役業務部長 川久 倫夫 さん



女性が活躍できる職場に

うちの会社は女性が多く働いてくれているので、女性が働きやすい環境を整えるのは、会社として当然のことだと思っています。近年は新卒の採用も積極的にやっているのですが、若い人も働きやすいように、会社としてさまざまな環境を整えようと思い、取り組みを始めました。

周りの理解と助け合いに感謝

現在3歳の子どもがいますが、急病の際や行事でお休みをいただく時も、周囲の理解があります。

「誰でもできる」を言葉に、誰もがどの仕事もまんべんなく経験し、誰かが休んでも代わりがすぐに入れるような態勢づくりができています。

性別や年齢に関係なく、信頼されて仕事を任せられているので、責任感も生まれます。言われたことだけをやるのではなく、自分で考えたことを試すこともできるのだから、やりがいを感じます。長く働き続けたいと思う会社です。

すずき まみさん 鈴木 真美さん

社員の誕生日が、祝っている自社カレンダー

男女共同参画意識の先に

女性は新しい仕事に対して一歩引いてしまう傾向があるので、一歩前へ出て、仕事や自分の幅を広げてほしいと思います。若い男性は、女性が重いものを持っていたら自分が持つ、高い所の物を取ろうとしていたら自分が取るなど、もっと気遣いができるようになるといいですね。声かけや気遣いは、トップやリーダーが率先して推奨しています。自然に声かけができて、職場全体で、働きやすく休みやすい雰囲気づくりができればいいと思います。

有限会社 池ちゃん家・ドリームケア

(男性45名、女性57名)

目配り、気配り、心配りをモットーに高齢者支援から子ども支援まで多様な事業を展開。



代表取締役理事長 池谷 千尋 さん

わが社のイチオシ

事業を始めて20年になります。当初から行ってきたことが、充実し、安定してきたと宣言事業所になりました。認定書をコピーして各施設に貼ることで、職員の意識が高まりました。わが社のイチオシは、併設されている保育所に子どもを預け定時に帰れることです。さらに、介護職という給与休暇を取りにくいイメージですが、取得の推進をしています。パースデー休暇、連続して3日取得できるリフレッシュ休暇などもあります。

8人の女性管理職

職員の人数は、正社員36名、パート66名です。24歳から72歳までの職員が働いています。パートから正社員に登用することもあります。逆に正社員からパートに変更することもあり、職員のニーズに合わせて雇用体系は柔軟です。自分たちが仕事に必要な資格を積極的に取る職員も多くいます。自分たちで考え、動いて、反省して、行動することは大切ですね。女性が活躍する職場ですが、3年目に管理職になる職員もいます。管理職の9人中8人は女性です。

年4回のラブレター

「家庭や子どもが1番、仕事は2番」と、折に触れ職員に話しています。職員が幸せでなければ会社として意味がないですからね。年4回、職員全員に手紙を出しています。返事をくれる職員もいます。ラブレターとも言える手紙は、職員との距離を縮めているのかもしれない。職員の間に壁がなく、管理職同士の嫌のつながりが強いのも特徴です。

STAFF VOICE

定年まで働きたい職場です

お客様との距離、社長との距離が近くアットホームな職場です。仕事内容にも満足していますし、チームプレーで無駄な残業もなくて定年で帰ることもできます。仕事面での充実が家庭に良い影響を与えているのかもしれない。今の目標はスキルアップのために資格を取ることです。資格取得をすることで職場のお役に立てればと思っています。休暇も取りやすく働きやすい職場なのでできれば定年まで働きたいですね。

なかたに かよ 中谷 佳代さん



女性の活躍を応援します！

誰もが、自分らしくいきいきと働ける社会の実現に向け、私たちは何をすれば良いのでしょうか。女性が安心して働ける職場、は誰にとっても働きやすい場所なのではないかと考え、今回は女性の活躍を積極的に後押ししている市内の男女共同参画社会づくり宣言事業所にお話を伺ってきました。

